

□■ 地域活動支援センター ぱれっと □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

障害者自立支援法 地域活動支援事業『堺市地域活動支援センター生活支援型Bタイプ』を実施。0歳からの全年齢の障がい児者及び家族を対象に実施している事業。開所は火～土、申込等は不要で、いつでも自由に利用が可能。  
＝今年度の活動内容＝

【日常生活支援】

「地域内での居場所」及び「それぞれの地域活動・自主活動を支える場所」の支援。  
具体的には、日常的に利用する方の『居場所』や自主活動を行う子・人たちへ『活動場所』の提供。  
定期的実施される自主活動として、常設のおもちゃ図書館（ぼっぼ）、外出グループ（びっぴ）など。  
不定期では、登録利用者のミニライブ・お茶会など。  
居場所・活動場所を利用される中から、日常生活の小さな悩み相談や福祉用具等の使い方やアフターケアの相談など、のよろず相談を実施。

【プログラム（グループワーク）支援】

週に2度程度の実施する企画もの。内容は、小さなセミナー、幼児の母親向け連続勉強会、なべさんのしゃべり場、ぷらっしゅ、防災ワークショップなど。

【地域関係機関との連携サービス】

ぱれっと主催の保護者勉強会等の企画、外部団体主催の企画モノへの講師派遣、福祉施策等情報収集のための外部団体会議への参加など。

【生きがい仲間づくり支援】

「趣味や余暇活動」の情報提供。  
内容は、平日毎日配信のメールニュースやホームページ／ブログの配信と、図書や関係資料（本、チラシ、映像、啓発物）を整備した情報コーナーを設置。

【日常生活支援による居場所プログラムから ～自主活動紹介～】

●おもちゃ図書館 ぼっぼ（記：松田）-----  
障がい児の母がボランティアで活動しているおもちゃ図書館ぼっぼ。7月に活動の場が、福社会館から地域活動支援センターぱれっとに移りました。それによって、平日は月・水・金曜日、土曜日は毎週開催できるようになり、ずっと念願としていたいつでも遊びに来れるほぼ常設の形となりました。

たくさんのおもちゃが揃っている中で、障がい児とその兄弟が気がねなくのびのびと自由に遊べる場所の提供をしています。対象は0才～10才程度の障がい児とその家族。好きなだけ遊んでおしゃべりして時を過ごせる空間です。

平成9年から活動を開始し、15年目を迎えました。目的は「障がい児が主役になれること」そしてその内容は、「おもちゃで遊ぶ」そんなシンプルな活動を、障がい児の母がボランティアとなり地道に続けて来ました。

- 開催回数：86回（年間参加者総数 862人）
- おもちゃ貸出：年間貸出総数 85点 / 団体への貸出件数 2件
- その他の活動

機関紙よっTOYで!	編集会議・印刷	年10回	延べ 45名
クリーニング	おもちゃの清掃	年10回	延べ 60名
運営会議	運営について	年11回	延べ 55名
総会		年 1回	6名
イエローシートキャンペーン	啓発活動	年 7回	26名
合計			192名

（開館日・その他の活動合わせての延べ総数 1054名）

== ぼっぼ担当者より =====

平成24年度は、ぱれっとに場所を移したことがここ数年での大きな変化でした。移行については夏休みごろから定着し、以前常連さんだった方々もぱれっとに自然と足を運んでくれるようになりました。何よりおもちゃを常設できることで、毎回の運搬の手間がなくなったのはボランティアにとっては最大のメリットでした。秋には、山科助成事業による、アウトドアイベントを企画しました。堺東高校のサッカー部員さんの協力を得て行った、堺浜ナショナルトレーニングセンターでの本格的なサッカー体験は、子どもたちにとって大変貴重な経験となり、またこの体験が家族の暮らしにもよい影響を与えてくれるものとなりました。

== ある日のぼっぼ =====

コロコロと落ちるおもちゃが好きなK君、トミカやアンパンマンで一人ゆったりと遊んでいましたが、とても小さな女の子のお友達、Bちゃんが来てくれました。するとBちゃん、コロコロが気になるらしくK君の側をウロウロ…。お友達が苦手なK君、さてどうするのか？と見ていると戸惑う様子はあったものの、Bちゃんのしたいようにさせてあげていました。

その後は、K君は「ままごと」と「ぼぼちゃんの歯磨き」が気に入ったようです。ままごとでは、なすびやキャベツをフライパンで炒めて、できたら冷蔵庫になおしていました。たくさんのおいしそうな料理ができあがりました。

ぼぼちゃんに何度も歯磨きをしてあげ、ぼぼちゃんの歯はピッカピカになりました。



■堺浜サッカーツアー（山科直治記念レジャー活動助成支援金対象企画）

おもちゃ図書館ぼっぼのボランティアが中心となり、障がい児とその家族がともに楽しめる内容を・と企画しました。障がい故に集団の中でルールを守って活動することが難しく、一般の子ども向けのスポーツ教室には参加しにくい家にこもりがちになる親子が、広い場所でめいっぱい身体を動かすことや、サッカーを体験することを目的に開催しました。堺東高校のサッカー部、社会福祉援助技術専攻の生徒、教員がボランティアとして参加。サッカーを通して母以外の人と関わる経験も出来ました。

== 参加した家族より =====

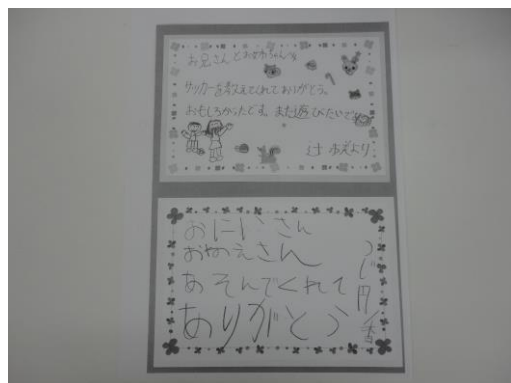
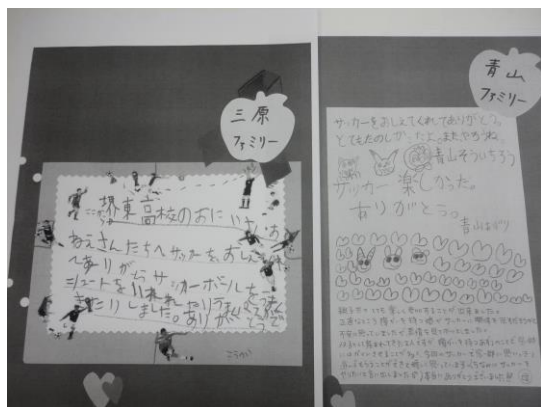
- ・母の感想：息子も娘も当日を心待ちしていました。反対に私は皆とサッカーができるのか？パニックを起こしたり知らない人がいるとどんな反応をするか不安でいっぱいでした。当日はその不安は何処へ行ったの？というくらい、二人はすぐにボランティアさんと打ち解けることが出来ました。あんまり楽しそうなので、私がそばにいるよりも…と、担当の高校生のお兄さんに二人をお任せし、写真を撮ることに専念。どの子どもも本当にいい笑顔でした。障がいを持つわが子二人が、あんな風にお友達やボランティアさんとサッカーが（しかもゲームまで）出来るなんて夢にも思っていなかったので、胸が熱くなりました。
- ・子どもの感想：堺東高校のおにいさん、おねえさんたちへ。サッカーをおしえてくれてありがとう。サッカーボールでうまくシュートをいれたり、うまくパスができたりました。おもしろかったです。また遊びたいです。



～サッカーイベントに参加したボランティア高校生の感想～

- ・障がいを持った子どもと触れ合うのが初めてだったので最初はどう接していいのか不安で、なかなか話すことが出来なかった。けれど、サッカーを教えていると実際は全然普通の子どもとかわらないと思った。いい思い出になったし、いい経験になった。
- ・僕たちがサッカーを教え、楽しませるのがこの交流の目的だったけど、逆に僕たちが楽しませてもらって、また元気をもらうことができました。

サッカーイベント以外にも、さまざまな年齢層のボランティアが定期的におもちゃ図書館活動に参加してくれる姿もあり、ぽっぽに参加する子どもたちにとっては家族以外の人と触れ合うよい機会となっています。また、参加してくれるボランティアに向けては、障がいの啓発に繋がっていく活動となっています。



●外出グループぴっぴ（記：三原）

小学4年生以上の障がい児が「友人と外出する」のを支援しているプログラムです。お母さんから離れて、お友達と外出！グループは、年齢や障がい程度に合わせて構成しています。できるだけ子ども達の自主性を重視し「やれることは子ども達で」を基本としています。今まで活動の管理は、ぴーずの支援プランセンターが計画から報告までを行っていましたが、平成25年2月より、地域活動支援センターぱれっとがサポートする自主活動となりました。

## 【H24年度の活動報告】

それぞれ月1回、活動を行いました。(びっぴ1及び3～6は、子ども達の成長等に合わせ、活動終了しています)

### ●びっぴ2 軽度知的障がいの中高校生チーム

実施回数 10回 (年間延べ参加数 46名)※

行き先 アップルストア心斎橋&ミナミ散策、日本民家集落博物館&服部緑地公園、ボウリング、プールなど

### ●びっぴ7 軽度知的障がいの中学生チーム

実施回数 3回 (年間延べ参加数 12名)※

行き先 ワールド牧場、神戸市立フルーツフラワーパーク、城山オレンジ園

### ●びっぴ8 重度知的障がいの19歳チーム

実施回数 9回 (年間延べ参加数 36名)

行き先 みさき公園、天保山公園、カラオケ、インスタントラーメン発明記念館 など

== **びっぴ担当者より**※びーすの支援プランセンター管理の活動として=====

メンバーのみなさんは、活動日を楽しみにしていて、目的地に向かう車中も楽しそうにしているという報告を聞かせてもらっていました。

その日の流れによっては、当初予定していたスケジュールを変更したり、それぞれのグループ活動を楽しめたのではないかと思います。

== **ある日のびっぴ** =====

★びっぴ2は、中学生の男の子4人のグループです。

大仙公園で行われた農業祭に行ってきました。また、同じ大仙公園内にある、自転車博物館にも行き、みんなで自転車のことを学んでいました。あいにくの天気で足元も悪かったのですが、たくさん歩いて歩数がなんと！約16000歩！でした。

★びっぴ7は、女の子2人のグループです。

神戸市立フルーツフラワーパークへ行ってきました。到着したらまずはお昼ご飯。食事が来るまでは、スマホを見せ合いながら楽しくおしゃべりしていました。園内を散策したり、おさるさんのショーを見たりと、楽しく過ごしていました。

★びっぴ8は、18歳の女性2名のグループです。

みさき公園に行ってきました。当日はとてもいい天気で、たくさんの来場者でにぎわっていました。お昼ごはんはお店の中ではなくテイクアウトし、外のベンチで食べました。それぞれお目当ての施設で楽しんだあとは、二人で相談しながら動物園を回り、楽しみました。

### ●その他の自主活動紹介(記:松田)-----

その他、芸術・趣味的な活動に取り組む利用者が 活動に対し「自ら、何をするか考え、見つけ、広げる」こと、そして見つけた活動の「具体的な活動内容を選ぶ、準備する、実行する、達成感を味わう」ことを、ぱれっとはフレキシブルな形・方法で支援をしています。

## 1. 豊明の世界

福山豊明さんの自主活動。趣味のさをり織りの展示会を4日間に渡って開催しました。

活動回数：1回 実施日：10月30日～11月2日 参加者121名

==活動のようす ==

と〜っても賑わいました。数々の温かい作品がばれっと中に展示され、一気に華やかに！ 主役の豊明さんは、黙々と織り機に向かっていました。柄はインスピレーションなんですって！ どの色が好きですか？ の質問には、「全部です」と答えて下さいました。

児童デイの子どもたちが、織る体験に来てくれました。最初は戸惑う、Nくんでしたが、教えてもらうと「うんうん。」やる気が出てきました。Tくん、かっこいい！織るの楽しいね。

さをり織は初めて、という方々と記念撮影！ 福山さん親子のお人柄がとっても温かく訪れてくれた人たちは、お母さんが入れて下さるお茶をいただきながら、長い間おしゃべりに花が咲いていました。

スタッフより：価値ある4日間を、ありがとうございました。



2. 成人さんの集う会

登録者さん2名で企画して開催。DVD上映会が行われました。

活動回数1回 実施日：3月9日 参加者3名

==活動のようす ==

隣のお部屋で開催する「おもちゃ図書館ぼっぼ」に遊びに来る子どもたちが一緒に観れるように、と“ゲゲゲの鬼太郎”をチョイス。初めての試みでしたが、参加した人たちはリラックスしながら、ゆったり、ゆっくりとした時間が流れていました。「次回は音楽を取り入れてみようか？」など次に繋がるアイデアが飛び出したりもし、有意義な企画となりました。



3. えのきはいむ 保護者会の集まりなど

利用者であるえのきはいむの役員さんからの申し出で、保護者会の作業等のためにばれっとを利用されました。

引き継ぎ作業 3月8日

保護者会活動 3月27日

【定期開催のグループワーク支援紹介】

●小さなセミナー（記：三原）

専門家の先生がお話する「大きな講演会」ではなく、もっと身近なテーマで暮らしに‘即・つながる’勉強などをするため、少人数のグループワークを月2～4回程度開催しています。

テーマを一つに絞ったセミナーのため、「同じ悩みを持つ参加者どうしが集まるので、和気あいあいと話しやすいムードがいい」と好評いただいています。

また、時間をかけて様々な支援グッズなどを丁寧に作り上げる「制作会」もあり、人気のプログラムとなっています。

## 【H24年度の活動報告】

●実施回数：25回 （年間参加総数 123名）

●実施内容：製作会	「手順書を作ろう」	3名	「ソーシャルストーリー」	4名
	「子ども紹介プリント」	3名	「お出かけグッズ作成会」	2名
	「コミュニケーションブック」	2名		
研修	「放課後の過ごし方」	4名	「福祉サービスについて」	1名
	「防災ワークショップ」	5名	「住まいの構造化」	8名
	「問題行動」	1名	「カレンダーとスケジュール」	7名
	「iPad アプリを使ってみよう」	8名	「支援グッズってな～に？」	5名
	「あい・ふあいるの作り方」	16名		
座談会	「発達障害児の学習」	5名	「新学期座談会」	6名
	「こだわり・困った行動」	4名	「先生とのコミュニケーション術」	3名
	「祖父母・親戚・ご近所付き合い」	2名	「障がい児のしつけ」	4名
	「夏休みの過ごし方」	2名	「重複障がい児座談会」	3名
	「ぴーすの就学相談会」	5名	「軽度発達障がい児座談会」	10名
	「ライフプラン」	4名	「病院・歯医者・散髪」	3名
	その他「たまにはリラックス！アロマ&ヨガ」	3名		

### == 小さなセミナー 参加者の感想より抜粋 ==

#### ★「コミュニケーションブック」に参加のお母さん

家で少しカードを使っていましたが、行きづまってしまい、それから特に何もしていませんでした。子どもも成長してきて、“伝えたい”気持ちも出てきていたので、わかってあげられず困ることもありました。今回いただいたアドバイスをもとに作成し、使用していきたいと思います。“伝わる” “分かった”が増えるといいです。



#### ★「子ども紹介プリント」に参加のお母さん

子ども紹介プリントはサポートブックと同じだと思っていました。でも、より多くの人に子どもの事を知ってもらおう、そんな素晴らしい物があったのか！と…。完成したプリントを見て大きな気がかりが一つ達成感に変わりました！

#### ★「カレンダーとスケジュール」に参加のお母さん

具体的にやっていることのお話や、エピソードなどとても分かりやすく教えていただきました。特に一緒に決めていくもの（指示書ではなく）や、今・今日を充実させてあげる、明日は今日よりかしこくなっている…など、心に響く言葉が多かったです。

#### ★「iPadアプリを使ってみよう！」に参加のお母さん

アプリの数が多く多様なので、自分の子に合ったアプリが選びやすそうでした。自分だけではなかなか探せないのありがたいです。次回参加させていただく機会があれば是非お願いしたいです。

#### ★「ぴーすの就学相談会」に参加のお母さん

支援学校に行かれている方のお話と、地域の支援学級に行かれている方のお話と両方バランスよくお聞かせ頂けてとても参考になりました。資料もたくさんご用意頂きありがとうございました。

#### ★「こだわり・困った行動」に参加のお母さん

一人で相談するところもなく悩んでいましたが、他の方の話や講師の方の話などで自分の心に「あ～なるほど」と納得できるセミナーでした！他のお母さん達もがんばっておられるんだと思い、又前向きにがんばれそうです。

●**ぴーすの連続勉強会**（記：松田）+++++

平成15年スタートし、今年は第8回目を迎えました。我が子の障がいについて間がない幼児期のお母さん達を対象に、少し先輩の小学生の母親が講師役をつとめ、体験談・失敗談を交えつつ、共感・励ましを伝え、生活の工夫・親の心構えを紹介することにより、少しでも早く我が子への愛情・子育ての楽しさ・将来への明るい希望を取り戻してもらうことを目的に実施している勉強会です。

【H24年度の活動報告】

1	5月22日（火） ぱれっと 6名参加	<b>こんな子育てやっています！～講師母の体験談～</b> ・講師役の母3名の自己紹介も兼ね、幼児期のことなどの体験談をお話しました。ビデオにて今の子どもの様子を紹介しました。
2	6月29日（金） ぱれっと 13名参加	<b>進路について～就園・就学～</b> ・わが子の進路について、通園施設・保育所・幼稚園などの情報提供と就園体験談のお話と支援学校と地域の小学校の様子を紹介しながら、進路を決める際の心構えなどをお話しました。
3	9月14日（金） ぱれっと 7名参加	<b>知的障がいってなあに？ワークショップ～実際に体験してみよう～</b> ・ぴーす小田多佳子理事長によるワークショップを開催。子どもたちの世界を実際に体験してもらいました。
4	10月23日（火） ぱれっと 6名参加	<b>みんなどうしてる？身辺自立～トイレ・着替え・食事 etc～</b> ・講師もいっぱい失敗してきました。そんな体験談をお話させていただき、頑張りすぎない生活のコツをお伝えしました。
5	11月27日（火） ぱれっと 9名参加	<b>ことばとコミュニケーション</b> ・こどもの「ことば」について悩んだ時期のお話をさせていただきました。コミュニケーションとはなんだろう？を学びました。
6	1月11日（金） ぱれっと 8名参加	<b>うちの子の将来って？～堺市の福祉制度について～</b> ・ぴーす小田多佳子理事長が、自身の子育てにおけるエピソードなどを交えながら、福祉制度の観点からも様々なお話をしました。
7	2月 5日（火） ぱれっと 1名参加	<b>グループトーク～子どものこと・ご近所との関係・・・etc</b> ・勉強会のスタッフと参加の保護者とで、子どもに関わるいろいろな話、お母さん自身のことなど、様々なことについて語り合いました。
8	3月12日（火） ぱれっと 2名参加	<b>障がい児のいる家族～きょうだい・父・祖父母の想い～</b> ・障がい児をとりまく～きょうだい、父、祖父母などの関わり方・障がい受容の事についてお話しさせていただきました。

== **連続勉強会担当者より** =====

H24年度は、場所が福祉会館からぱれっとへと変わり、気持ちも新たに勉強会を開催しました。

ぱれっとならではの距離感の近い勉強会でしたので、参加者さんにはじっくりとお話を聞いていただけたのではないかと思います。

「話を聞いて安心した」「子どものことが少し理解できた気がする」などの感想をいただき、身近な体験談をお話することで共感していただける部分が多くあったのではないかと思います。

スタッフも参加者の感想に励まされ、元気をもらいました。

== **連続勉強会 参加者の感想より抜粋** =====

★第1回 「こんな子育てやっています！～講師母の体験談～」

- ・先の見えない不安に駆られることも多かったけれど、皆一緒だったんだと思い、心が楽になりました。ビデオを見せてもらって、うちの子はどんなふうに成長するのだろうと楽しみにになりました。

★第2回 「進路について～就園・就学～」

- ・就園・就学に関しては、自分の中で不安や迷いがあり、“私の理想としては・・・”という部分がとても大きかったの

ですが、今日お話を聞いて“子どもにとっての最善・合った場所”を、しっかりゆっくり考えたいなと思いました。

★第3回 「知的障がいってなあに？ワークショップ～実際に体験してみよう～」

・初めてこういった勉強会に参加しました。いろいろな体験を通して、実際の自分の子どもの見え方や感じ方を知ることができました。自分が親として変わっていかねば、子どもに寄り添っていかねばならない、と思いました。

★第4回 「みんなどうしてる？身辺自立～トイレ・着替え・食事 etc～」

・正直なところ、家では積極的に取り組んだりできていないのが現状です。しかし頭の中では、いつまでおむつなんだろうか・・・という焦る気持ちでいっぱいでした。今日のお話を聞いて、ゆっくりと、無理じいすることなく子どものペースに合わせてやっていければと、思いました。

★第5回 「ことばとコミュニケーション」

・たとえ今は言葉を発していなくても、いろんな体験をさせるなかで、いつか～子どもの言葉となって出てくれることを、楽しみに思える気持ちになりました。とりあえず今日、絵カード等作ってみようと思います。

★第6回 「うちの子の将来って？～堺市の福祉制度について～」

・今日のお話を聞いて、子どもの将来にはいろいろな選択肢があるのだなと思い少し安心しました。これからはただ思っているだけでなく、どんどんいろんな機関やいろんな人に相談していきたいなと思います。  
・自分に何かあったら・・・という不安や、子どものために情報収集しないと・・・という焦りもありました。家族だけで頑張るのではなく、いろんな支援を利用しながら楽しく生活していければいいなと思います。

★第7回 「グループトーク～子どものこと・ご近所との関係・・・etc～」

・今困っていることなど聞いていただき、アドバイスもしていただき～本当によかったです。今日は欠席の方が多くて少し残念でしたが、またこういう機会があればいいなと思いました。

★第8回 「障がい児のいる家族～きょうだい・父・祖父母の想い～」

・私にとって大切な家族だからこそ、皆さんがどう乗り越えられているのか、聞かせて頂きたかったです。体験談を聞かせて頂いて、とても参考になりましたし、この連続勉強会に参加させて頂き、皆さんと出会えたことをきっかけにこれからの支えにして、頑張っていけたらと思います。  
たくさんたくさん元気と勇気を頂きました。



●なべ先生のしゃべり場（記：松田）+++++

堺東高校の渡邊元嗣先生（なべさん）をボランティアで迎え、当事者向けプログラムとして 5月よりスタートしました。

「いつでも誰でも自由に」のスタイルで、当事者の方々の日常生活の小さな悩み相談から、趣味や余暇活動を共感し合う場として開催。開催日は就労や訓練中の障がい者の方も利用しやすいよう「土曜日」とし、生きがい、仲間作りを目的に進めて来ました。

なべさんが精神保健福祉士・学校心理士・特別支援教育士の立場からさまざまな相談にも対応。一人ひとりの利用



者が地域の中で「自立した日常生活」「社会生活」を営むことを支援する「なべ先生のしゃべり場」は回数を重ねるごとに徐々に浸透し、ぱれっとが素敵な居場所として活用できる貴重なプログラムとなりました。

●実施回数 8 回 (年間参加総数 44名)

＝活動の様子＝

- ★堺東高校の総合学科やボランティア同好会の卒業生を中心に 35 期から 38 期生の男女 18 名が集合！おしゃべりやゲームなどで、ぱれっとの場を笑顔いっぱい賑やかに盛り上げ、活用していただきました。ヘルパーさんとして働いている人、大学で看護師や支援学校教諭を目指して勉強中の人など、今後、福祉の場に関わる若者がいっぱい集まりました。センターは嬉しい限りです。
- ★ID (Intellectual Disability：知的障害) バasketボールの競技に参加する女子チームの二人は、しゃべり場の常連さんです。今回のなべ先生のしゃべり場は、午前中から、そんな美女に囲まれて iPad でブログや記事などをみながらネットサーフィン。  
「堺市バスケットチーム」近畿大会優勝は、やっぱりスゴイ！の話に盛り上がり、午後からは、大学説明会帰りの男子高校生お二人と“堺のミスチルさん (シンガーソングライター)”とお連れさんのお二人も加わり大賑わい。  
iPad アプリ「太鼓の達人プラス」を披露するなべさん♪  
そして、なんと！高校生のお一人は、折り紙の達人で、すごい作品に驚き！なべ先生朝から大忙しの日でした。

- ★数か月ぶりの“なべ先生のしゃべり場”には、成人の利用者さんが集まってくださいました。  
Hさんは、ご近所にお店がある名物カレーパンを宣伝しに来て下さり、事務所の職員やぼっぼのボランティアさんの分も注文を取ってアツアツ出来立てカレーパンを届けてくれました。手作りのネパールカレーが中にぎっしりと詰まっていてしっかりとしたパン生地に包まれた、おいしいおいしいカレーパンでした。Hさん、また是非注文を取りにきてください!!(^)!  
カレーパン試食のあとは、ギターの弾き語り♪ Mさんも交えて、トークに花が咲きました。  
この日は、初めてのSさんも訪れてくださって、にぎやかなしゃべり場となりました。

- ★あいにくの雨の中にも関わらず5名の方に参加いただきました。  
Hさんは今回白いミニギターをもって来てくださって優しい音色を聴かせてくださいました！音楽活動をされているのでやっぱりお上手です♪  
プラザでのバスケの練習を終えてMさんとKさんも来てくださいました。さすが若い女子!!! 一気に華やかなムードになりました。  
今、若い方のあいだで流行っている「ライン」なるものを教えてもらいなんとスタッフをお友達登録してくれました。  
お昼からMさんもお越しいただきました。  
なべさんも始終笑顔でみなさんのお話を聞きつつ、突っ込みつつ(苦笑) あっという間にお開きの時間となりました。



- ぷらっしゅ (記：中園) -----  
e-AT (電子情報支援技術) を用いて、肢体/知的の重複障がい児の余暇活動支援プログラムです。  
身体の不自由さを e-AT 利用で補い、人に動かされるのではなく、自分の意志でおもちゃを動かす・音楽を聴くなど様々な活動をしています。子どもの遊ぶ姿を通して、保護者は支援機器の利用やコミュニケーションの支援について学ぶ機会となっています。

【H24年度の活動報告】

●実施回数：4回 (年間延べ参加者数 87名)

- ・6/12 移転後の第1回目として開催
- ・7/19 第2回目として開催
- ・7/21 電腦屋台（堺支援学校夏祭り）として参加
- ・8/1～4 肢体不自由児・者向け支援重点 Week「スイッチを使った支援と支援機器相談会」として開催
- ・3/17 iPad親子体験会「アプリ（iPad）を使ったコミュニケーション」として開催

●実施場所：地域活動支援センター ぱれっと

●アクティビティ：〈遊ぶ〉ドミノトラック、ぷーさんのチョウチョとり、iPadゲームアプリ  
 〈感覚〉iPadゲームアプリ、扇風機（風）、ディスコライト（光） など

== ぱらっしゅ担当者より ==

パソコンやiPadなどの最新ICT（情報通信技術：Information and Communication Technology）機器は、支援学校はもとより、地域の支援学級などの教育現場にも普及し始めました。また、スマートフォンなどのタブレット端末は急速に家庭にも広がっております。このようなモノを利用・活用しない手はありません。一般に使いやすいものは、障がいのある子どもたちにも使いやすいはず。障がいのある子が主体的に遊び、学ぶチャンスが増えました。

ぱらっしゅでは、新しいおもちゃもパソコンや最新の情報端末機、支援機器もジャンジャン子どもたちに使ってもらっています。

== ある日のぱらっしゅ ==

堺支援学校でおこなわれた「福祉盆踊り」に本年度も出店者として参加。ぱらっしゅの出し物メインは「iPad（アイパッド）のゲーム「太鼓の達人」とパソコンソフト「金魚すくいゲーム」。ともに年齢や障がいの有無を問わず、誰でも簡単にその人なりに楽しめるアクティビティです。

パソコンやiPadがかなり普及してきたこともあり、お祭りが始まると長蛇の列ができ大盛況。スイッチで遊ぶものって、こどもには大人気ですね。列は、障がいのある子といわゆる健常児が混ざり合った状態です。こんな列って見た事あります？列を見ているだけでもうれしくなります。

電子通信技術の進歩で、いろいろなことができるようになってきました。たくさんの人に遊びを通じて体験してもらうことによって、ICTを活用した支援は、むずかしいものではなく、主体的に楽しめるものだということを実感してもらえるととてもよい機会になりました。



【地域関係機関との連携サービスによるプログラム紹介】

●主催講演会（記：辻）

ぱれっとが地域関係機関との連携サービスの一つとして、企画しているもの。その年・その時の地域や保護者ニーズに合わせ、柔軟に「こんなのやれば、きっとみんな喜びね」を大事に企画しています。

平成24年度は、以下の講演会を実施しました。また、H24年度は、JR西日本あんしん社会財団助成金が決定したので、これらの講演会等にも有効利用させていただきました。

### 1 『知って感じて！感覚講演会』（街づくり夢基金第9回助成対象事業）

- ・実施日時：9月15日（土）14：00～16：00
- ・実施場所：堺市産業振興センター（しばしん）
- ・講師：嶋谷和之氏
- ・参加者：62名
- ・実施内容：ぴーすが平成20年から取り組んでいるテーマ「障がい児者の感覚」毎年講演会やワークショップを実施し、多くの方から好評をいただいていたのですが、今年度は「初の土曜日開催」で実施。保護者の方以外にも多くの事業所や教育関係者の方々の参加があり、「障がいのある子の独特の世界」を知っていただきました。



#### == 参加者の感想 =====

- ・いろいろな子どもがいるとわかりながら、結局は自分の感覚で物事を見ていたのだなと痛感しました。子どもたちの出している行動のサインに気づき、何を伝えようとしているのかを見逃さないよう、日々の保育に臨みたいとおもいました。本日、参加できてよかったです。

### 2 『感覚セミナー』（街づくり夢基金第9回助成対象事業）

- ・実施日時：9月29日（土）14：00～16：00
- ・実施場所：地域活動支援センターぱれっと
- ・講師：嶋谷和之氏
- ・参加者：18名
- ・実施内容：9月15日に開催しました「感覚講演会」より、さらに理解を深めたい方々にご参加いただきました。感覚講演会の復習をした後、感覚調整障がいについてのお話。過敏であったり鈍かったり・・・それぞれのタイプに応じた援助のヒントを、実例を交えながらお話していただきました。

#### == 参加者の感想 =====

- ・成人の知的障がいの方を支援させていただいていますが、私たちの感覚と違うことがよく見られ、なぜだろう？ “どう支援させてもらったらいいのだろう？”と日々感じています。今日のセミナーを受けさせていただいて、人の感覚調整の障がいについての理解が深まりました。今後の支援に生かしたいと思います。
- ・具体的な事例を通してのお話は、分かりやすく日々の支援と重なるところもあり勉強になりました。どうしても表面的な行動ばかりに目がいきってしまいましたが、“なぜ？”を大切に、その行動の背景を考えながら、今後の支援につなげていけたらと思います。今日はありがとうございました。



### 3 『防災ワークショップ』（平成24年度 JR 西日本あんしん社会財団助成対象事業）

防災が大事であるとはわかりながらも、日々の生活に追われる障がいのある人や家族の「ひとりではしづらいこと」を、仲間が集まりアドバイスや励ましをしあう形で「しやすい防災」にしてもらうことを目的として実施しました。内容は、第一部が講師による基本講演『防災の一般的基本知識と障がい者ならではの防災』。第二部は、3～5名のグループにわかれ、テーマに沿ったグループワークを行いました。

1	9月18日(火) 小さなセミナー 5名参加	支援員さん(ガイドヘルパー)の意見では、支援中に災害が起きた場合の避難方法について、そこまで考えていなかったという声が聞かれました。また保護者からはどこで災害が起きて大丈夫なように、子どもの情報(持病・落ち着くもの・苦手なもの)を伝えるメモや薬を普段から持たせたほうがいいという案が出ました。
2	10月25日(金) 29日(月) 30日(火) ファシリテーター研修 11名参加	必要なものとして挙がった意見で多かったのは、子ども仕様のものでした。しかし、こだわりやお気に入りのものを避難袋に入れることが難しいという意見も出ていました。これには、お気に入りのものを複数用意し、子どもに持たせるものと避難袋に入れるものをローテーションで回してはどうかという案があがり、参加者さんが納得していました。
3	11月2日(金) わかかの会 5名参加	支援学校には広範囲から通ってくるため、災害が起きた時に、子どもの安否確認をどうするのか、いざ子どもを迎えに行く時の交通手段についての不安な声が上がっていました。学校側との共通したマニュアルがほしいという意見が出ました。参加者さんの中にはきょうだい児がいる家庭も多く、障がい児以外にも、きょうだい児がよくいく場所も把握しておく必要があると感じたようです。
4	12月5日(水) あたらしい風の会 7名参加	支援学級の担任やご近所、同じ支援学級の保護者同士、普段から子どもの事や、発災時の方針を確認したほうがいいという意見が出ました。実際すでに実施している参加者さんもあり、災害の意識の高さがうかがえました。安否確認ダイヤル、災害伝言ダイヤルがあることは知っているが、実際利用したことはないという意見もありました。
5	1月24日(木) 第2つぼみ園 25名参加	障がい児の年齢関係なく、問題行動と言われているものが周囲の人に理解してもらえるのかどうか、という事です。ここでも日頃からの近所づきあいの大切さを発言する方が多かったです。しかし、まだ子どもさんの年齢が小さいこともあり、ご近所さんに子どもさんの事を伝える事が負担に感じている人もおられました。同じような立場の人たちと一緒に過ごせる避難スペースを希望する方も多かったです
6	1月25日(金) 百舌鳥支援学校小6 のつどい 7名参加	障がい児家族が過ごせる避難場所が欲しい、子どもたちが慣れた場所である支援学校を避難場所に指定してほしい、という意見が大半でした。支援学校であれば、特別対応が必要な子どもの事を把握して、薬の準備もできるのではという思いがあるようです。家族としては多少遠くても、家族・本人の精神的安心のため、利用したいと考えているようです。
7	1月26日(土) 大阪自閉症協会おや じの会 7名参加	母親対象のワークショップとは違い、一番に連絡を取りたい人としては母親の名前がほとんどでした。しかし、当の母に何かあった時に、子どもの安否を確認しようにも母の連絡先しか知らないという人がほとんどでした。普段離れているからこそ、何かあった時にどう連絡を取り合うのか・どうすればいいのか、家族で話し合う大切さに気付いて頂けたようです。
8	3月7日(木) 施設管理者対象 14名参加	障がい児(者)ゆえに、特別な準備や心構えが大切で、マニュアル作りの必要性を実感していただけたようです。

== 参加者の感想 =====

★9月18日(火) 小さなセミナー

・保護者だけでなく事業所さんの意見も聞くことができ良かったです。他の保護者の悩みや工夫をワークショップを通して知ることができて自分でもいろいろと考えました。

★10月25日(金)29日(月)30日(火) ぴあぴあスタッフ対象研修

・災害が起きた時のことだけではなく、それ以前の備えも重要だと思いました。考えなければならないテーマがたくさんあると感じました。

★11月2日(金) わっかの会

・少人数で話し合いやすかったです。夫の携帯にも支援先の連絡先を入れるというような、細かい対処法がわかってよかったです。話を聞くだけではなく、紙に書くことで、問題点も理解しやすかったです。

★12月5日(水) あたらしい風の会

・同じぐらいの年齢の子供を持つ親同士ならではの悩みを話せてよかったです。学校の先生と災害時のことについて話し合っているという方もいて参考になりました。シュミレーション、コミュニケーションの大切さを感じました。

★1月24日(木) 第2つぼみ園

・普段は防災について何も考えないので、こういう機会があってよかったです。近所づきあいの大切さを改めて実感し、もっと交流していこうと思いました。

★1月25日(金) 百舌鳥支援学校 小6のつどい

・準備しているつもりでも、できていないこともたくさんあるとわかりました。障がいのある我が子に合った準備は何から始めていいかわからず手つかずでしたが、情報や不安の共有ができて嬉しかったです。

★1月26日(土) 大阪自閉症協会 おやじの会

・自分がいかに災害に対して準備をしていなかったかが身にしみてわかりました。非常持ち出し用品の準備、災害の時の避難場所の確認さえしておりません。今後家族でいざという時の避難場所の確認、連絡のとり方の確認などを話し合っていきたいと考えております。

★3月7日(木) 施設管理者対象

・何から手をつけてよいか悩んで、初期動作にしぼってマニュアルを作成しました。「できた」と思ってましたが、今日参加して足りないところがよくわかりました。継続して取り組んでいきたいと思えます。

●イベント(記:松田) +-----+  
利用者のニーズや季節などをあわせて、センター以外の場所を使用し、催事などを開催しました。

春のバスツアー～淡路夢舞台～

障がい児・者とその家族対象に、春休み時期に、花と緑がいっぱいの淡路夢舞台へ行きました。昨年度に引き続き2度目の企画でしたが、大型バスに乗って行く少し遠出の企画は、春休みならではの催しで家族同士の交流もでき、季節感あふれる楽しい企画となりました。



== 参加した家族より ==

- ・大人はきれいなお花を堪能できたし、子どもは遊具でめいっぱい遊びました。
- ・よい気候でこの時期のバスツアーはぴったりだと思いました。昨年も参加しましたが、今年は昨年入れなかった植物園にもは入れ、母は満足です！
- ・春休み、どうしてもガラガラしていた頃なので、この企画は助かりました。また機会があれば参加したいと思えます。

●講師/発表者を派遣した講演会等(記:山本) +-----+  
びーす以外の団体や法人等が主催をした講演会などに、以下の通り、講師を派遣しました。

堺東高校 社会福祉基礎の授業 講師

5月9日

「障がいのある子どもたちと向き合うこと 障がい児の母の気持ち」

NPO もず主催 『ビートゥモロウ』ティータイム研修会 提言者 「児童支援アイデア持ち寄りワークショップ」	5月16日
岸和田障害者共同作業所後援会主催の講演 講師 「障がい児者の防災について学ぼう」	5月24日
堺市教育委員会主催 特別支援教育推進リーダー育成研修 講師 「保護者理解について」	8月9日
堺市主催のセミナー ファシリテーター 「あい・ふぁいる」活用セミナー～つながろう、つなげよう～	8月20日
南勢町かえで作業所主催の講演 講師 「障がい者（児）と親・家族の防災について」	9月8日
めだか親子教室 保護者学習会 講師	9月11・3・14日
和歌山県立紀北支援学校 保護者会主催の講演 講師 「障がい児・者の防災について」	9月13日
三重県四日市市 障がいを持つ子と親のサークルのびっこ主催の講演 講師 「障がい児・者と地域、家庭の防災を考える」	9月27日
和歌山県橋本市社会福祉協議会主催 ボランティア育成講座 講師 「おもちゃ図書館ってなんだろう？」	10月6日
第2もず園主催 保護者学習会の講演 講師 「今だから思えること～18年間を振り返って～」	10月16日
堺東高校 社会福祉援助技術の授業 講師 「堺おもちゃ図書館ぼっぼの活動と障がいのある子どもたち」	10月16日
神奈川県立麻生養護学校 PTA 主催の講演 講師 「障がいのある子どもと家族のための防災セミナー」	10月23日
八尾市立いちよう学園 保護者学習会 講師 「家庭で今取り組むべき必要な事」	10月28日
堺東高校 社会福祉援助技術の授業 講師 「障がいのある子どもたちと向き合うこと 障がいの理解と支援」	10月31日
わかかの会主催の学習会 ファシリテーター 「出前：防災ワークショップ」	11月2日
大阪手をつなぐ育成会主催の講演 講師 「堺の相談支援ネットワーク」	11月20日
堺市手をつなぐ育成会主催の講演 講師 「障がいを支援するために役立つ「モノ」「家」「部屋」について学ぼう」	11月30日
堺市主催セミナー ファシリテーター 「あい・ふぁいる」活用セミナー～つながろう、つなげよう	12月4日
あたらしい風の会主催の学習会 ファシリテーター 「出前：防災ワークショップ」	12月5日
にじっこサロン主催のセミナー 講師「支援グッズのお店 ぼっしえ「支援グッズと活用法」～見て・さわって・体験して～」	12月8日
第2つぼみ園保護者会主催の学習会 ファシリテーター 「出前：防災ワークショップ」	1月24日
堺市立平岡小学校 4.5.6年向け 障がい啓発授業 講師 「障がいの説明とその対応について」	1月25日
百舌鳥支援学校小6のつどい主催の学習会 ファシリテーター 「出前：防災ワークショップ」	1月25日
大阪自閉症協会 おやじの会主催の学習会 ファシリテーター	1月26日

「出前：防災ワークショップ」		
静岡大学教育学部附属特別支援学校後援会主催の講演 講師		1月27日
「障がい者を持つ家族の防災対策」		
NUSS主催の講演 講師		2月2日
「“モノ”を使ったコミュニケーション支援方法」		
北区ボランティア気づきの市民講座主催の講演 講師		2月25日
「障がい理解を深める～ともに地域で暮らす住人として～」		
キンダーハイム卒園児親の会 KO 会主催のセミナー 講師		3月6日
「子ども達への支援グッズについて」		
北河内ブロック障害者福祉研究会主催の講演 講師		3月8日
「障がい者・児の防災について」		
大正区地域自立支援協議会主催の講演 講師		3月27日
「障がいのある人の防災と地域づくり」		

●参加した会議等（記：山本）+++++  
 ぴーすスタッフが参加した今年度の会議等は、以下の通りです。

堺市手をつなぐ育成会 総会 部会 役員会
大阪手をつなぐ育成会 理事会 支部連絡会 役員会
堺市社会福祉事業団 評議会
特定非営利活動法人 堺市相談支援ネット 理事会 総会
平成 24 年度 堺市障害者基幹相談支援センター事業運営調整会議
第2次堺市地域福祉計画 第4次堺市社協地域福祉総合推進計画 懇話会
平成 24 年度 堺市発達障害者支援専門部会
堺市発達障害者支援センター 連絡協議会
地域活動支援センターBタイプ 情報交換会
さかい障がい児放課後連絡会 会議 役員会
堺市中百舌鳥校区 まちづくり協議会



2. その他

ぴーす以外の団体等が主催をした催しや会議に、協力や手配等の依頼がありました。以下がその記録です。

堺障害者団体連絡会 国会懇談会 参加	4月20日
もず園保護者会主催のコンサート（演目手配のサポート）	6月4日
第53回大阪知的障がい者福祉大会 「みんなでええやろーこの町で暮らす、暮らし続ける」参加	9月9日
大阪大学大学院 実施 「自閉症児者の住環境整備について」の研究 （調査協力のための保護者座談会を実施）	9月24日
堺市立上神谷支援学校運動会 来賓	10月6日
堺市長の「元気！いきいき訪問（平成24年度第3回）（ばれっとを視察）	11月7日
堺市中百舌鳥校区まちづくり協議会 主催 「地域のこころはワンハート」コンサート（実行委員&当日司会）	11月18日
「東北大学災害科学国際研究所 特定プロジェクト研究」のアンケート協力	12月15日～
堺市上神谷支援学校小学部 卒業証書授与式 来賓	3月15日

提 供

（記：中園／辻）+++++

### 【生きがい・仲間づくり支援】

障がい児やその家族の暮らしに役立つ情報を、メール(パソコンや携帯)などを利用して提供しています。具体的には、以下の3つの方法で行っています。

#### 1：メールニュース『ふぁにい』

月曜～金曜までの毎日、携帯やパソコンへのメールニュースを配信。生活に密着した情報をタイムリーに届けることができる「欲しい情報が欲しい時に手に入る」ニュースです。

#### ●平成24年度総配信数： 376 件（期間H24年4月～H25年3月 月平均配信数 31件）

カテゴリー	記事内容（抜粋）	合計
福祉行政制度		0
民間の社会資源	・大阪ハートフル商店街 ・ぜんちの保険	16
お得情報/障害割引情報	・ビッグバン春の特別パスポート販売 ・コンサート無料招待	6
余暇お出かけ先施設情報	・鉄道甲子園 ・恐竜化石展	19
余暇エンタメ情報	・人形劇クラルテ公演会 ・ユウの家絵画展	16
余暇文化活動	・ファインプラザスポーツ教室 ・大阪府障がい者芸術・文化フェスタ	47
余暇イベント	・どんぐりはじめてスキーキャンプ ・さかい福祉まつり	34
セミナー/講演会/学習会	・発達障害のある子どもたちへの支援 ・重度障害者の地域生活支援	82
書籍/番組/モノ等の紹介	・NHK福祉ポータルハートネットTV	17
びーすからのお知らせ	・知って！感じて！感覚講演会 ・さをり織り作品展 ・小さなセミナー	139
合計		376

#### == ふぁにい担当者より ==

今年度も関係機関や団体、利用会員様からたくさんの情報をいただき、幅広い情報を配信することができました。みなさんの「知っている」「伝えたい」などの想いがふぁにいニュースになった一年でした。

今後もいろんなニーズにお応えできるように、バラエティに富んだ内容で配信をしていきたいと思ひます。

#### 2：びーすのブログ <http://sakai-comcom.net/p-s/>

2009年1月7日 開設



ぴーすの各事業の開催情報や活動報告、スタッフの様子などをリアルタイムに発信しています。  
今年度もおもちゃ図書館や鉄道クラブなど余暇活動を精力的に行っているグループの活動の様子を、画像とともに紹介いたしました。

== ある日のブログ記事より =====

●堺市長がぱれっと・ぽっしえに

11月7日（水）ぱれっと・ぽっしえに竹山市長が訪問されました。  
堺市のホームページにも紹介されている『市長の“元気いきいき訪問”』市民活動の場を市長さんが訪問し、直接お話することで市民とともにまちづくりを進めることを目的にされた取り組みです。理事長小田から、ぽっしえのお店の紹介と障害支援、相談支援についてのお話、ぱれっと（地域活動支援センター）の取り組みの内容をお伝えさせていただきました。



続いてこの日開催していた、おもちゃ図書館ぽっぽの様子を見て頂きました。参加してくれていた、お子さんたちとお母さん、そしてボランティアの母の笑顔がぴーすのミッションである“障がい児・者とその家族の“楽しい暮らし”に繋がっていることを感じていただけたのではないのでしょうか？竹山市長と、スタッフとの懇談のあとは、記念撮影が行われました。

大変有意義な時間を持てたこと、今後の活動に生かしていきます！

●7月のぽっぽの様子

今回は、作品集！  
思い思いの発想で、おもちゃを使って見せてくれました！  
前回作れなかったのが心残りだったKくん。  
思う存分、時間をかけての超大作！



●ぴーす理事長：本日の業務

今年度も、うれしいことにたくさんの防災講演のご依頼あっていろんなところへ行きました。その最後の締めくくり。今日は大阪市の大正区地域自立支援協議会が主催する『障がいのある人の防災と地域づくり 講演会』に行きました。

なんとあの障がい者防災のメジャーゆめ風基金の理事：八幡隆司さんとごいっしょ。お話を聞けるのを、とても楽しみにいきました。で、その講演内容は期待以上～！！めちゃ勉強になりました。一人でぼんやり「こんな感じのもの、いるような…」ってことバシバシ形にしてお話してもらえ気持ちよかった～。ほんと、得した気分(^o^)

ゆめ風基金の本も4冊購入しました。味わって読みます。来年度も防災、がんばります。

●鉄道クラブ

きょうだいでシュミレーションゲームを楽しんでくれたMちゃんとKくん。アナウンスは得意な駅がそれぞれあるようで、交代しながらシフト制の車掌さん。

Sくんが、お気に入りのマイク車両をもってきてくれました。『南海』『泉北』『特急こうや号』まるで、ここはなかもず駅！！  
イコカたちも見とれていました～



3：ぴーすのホームページ <http://p-s-sakai.net/>

近年、いろいろな情報発信の手段の一つとして、インターネット（ホームページ、ブログなど）を活用したものが、



品物が手にとれないととても困ります」などの声がびーすに寄せられていました。そんな使用者（お子さんと保護者）のニーズにこたえるため、びーすでは商品を事務所や講演会場に並べて手にとって選んでいただけるように『障がい児・者のためのいい暮らしを支援するモノ』の展示販売をしていました。

それを発展させ、平成24年度は（ぱれっと開所に伴い）生活支援グッズのお店〈ぼっしゅ〉をオープンしました。ぱれっとの開所に合わせ、火～土に開店しているので、欲しい時にすぐ利用ができるようになったことや広いお店になったことで、車いすでの来店が可能になりました。また、相談員が常駐しているので、ニーズの把握やグッズ等のフィッティング・アフターケアがおこないやすくなりました。

5月8日のオープン早々、全国初のお店ということで、メディアから注目をされ、遠方は沖縄からのお客様もありました。また、来場者アンケートの結果からも、高い評価を得ました。

## 【H24年度の活動報告】

●平成24年度 ぼっしゅ来店者数 : 690組 売り上げ件数: 合計 2435件

### ●新たに取扱った商品：

店舗スペースが広くなり、支援するモノの選択枝をできるだけ増やしたいとの思いから、以下のメーカー・販売社さまの新製品を積極的に紹介するとともに、新規にお取引を開始するなどを行いました。また、多くのメーカーさまの情報を提供することができました。

#### 《新製品》 ※販売開始順

- ・アクセスインターナショナル：「くるんパス」、「Qリング（フリー）」
- ・コムフレンド：「ボイスルーラー」、「かくれんぼう」、「読み上げペン サトシくん」
- ・おめめどう：「アタシアイテム B6 クリップボード」、「ワンコイン非常時セット」
- ・(有)ウインド：「口当たりやさしいスプーン」、「つぶしっこ」、「箸そうくんクリアⅡ」

#### 《新規取引先》 ※取引開始順

- ・アドプラス：「からだをあらおう」、「トイレにいてみよう」、「ウィークリースケジュール」
- ・発達障害サポート企画 BIRD：感覚グッズ、「ばたスケ」、「スケながボード」
- ・システムデザインラボ：「iPad タッチャー」
- ・NPO 法人 e-AT 利用促進協会：「タッチパネル用手袋」
- ・(株)墨運堂：「ゆび筆」

#### 《情報提供》 ※提供開始順

- ・テクノツール(株)：「小型ひらがなキードード」、「なんでもスイッチ USB」、「なんでも IR」
- ・日本クロソフト(株)「Windows7」、「Windows8」
- ・(株)アシストアイ：「クリーン・キーズ」
- ・(株)ユープラス：「トーキングエイド for iPad」
- ・富士通デザイン(株)：「特別支援携帯アプリ タイマー・絵カード・筆順」
- ・パシフィックサプライ(株)：総合カタログ
- ・(株)キングジム：「iココロコ」、 「ブギーボード」
- ・総合警備保障(株) (ALSOK)：「ホームセキュリティー」、「シルバーパック」、AED、非常セット

人気のあった商品は、アドプラスさまの手順シリーズや BIRD さまの「Mr.バナナ」、「のびーる」をはじめとした感覚モノでした。また墨運堂さまの「ゆび筆」は、児童デイのプログラムとしても活躍しました。さらに肢体不自由児むけには、システムデザインラボさまの「iPad タッチャー」が人気でした。

情報提供は、いわゆる福祉機器関係のモノの情報だけでなく、事務用品メーカーや警備会社の情報まで、生活を支援するためのモノに関する情報を提供いたしました。

### ● “びーす”の防災グッズ《防災ワッペン・防災手帳》

理事長が依頼を受ける防災関係の講演も多く、「防災ワッペン・防災手帳」については、本年度も即売会や全国



障がいを持った子どもたちの余暇活動を豊かにすることを目的として活動しています。

学校でも家でもない場所で、友だちと一緒に年齢相応の過ごし方をする中で、ルールやマナーを学びながら将来の地域生活に向けて必要な力を身につけていきます。

また、親子一緒に取り組みでは、日々の生活の力を身につける為、ゆるやかな集団の中でさまざまな活動にチャレンジしていきます。

父、母、兄弟、ボランティアの参加も歓迎しながら、将来に向けて地域と関わることの大切さも学んでいきます。

●活動拠点 ぷらむの家 北区百舌鳥梅町3丁39-18 (5月よりスタート)

●活動人数 小1=5名 小2=6名 小3=9名 小4=5名 小5=6名 小6=4名  
中1=4名 中2=2名 中3=2名 高1=0名 高2=0名 高3=1名 計 44名

### 鉄道クラブ

鉄道好きな子どもたちが、広い部屋でプラレールを自由に組み立てたり、運転シュミレーションゲームをしたり、マニア向けの本やDVDを見たり、電車のペーパークラフトを作ったり などなど…。鉄道一色の空間で友だちと一緒に楽しく余暇を過ごしています。

実施回数 24回

参加者数 229名

(障がい児92名・父/母66名・きょうだい22名・ボラ49名)



### 親子チャレンジクラブ “らっこ”

「親子で挑戦してみよう！」をテーマに活動しています。例えば

- ・家ではなかなか付きっきりで教えられない「包丁を使ってのお料理」
- ・やってみたくは思うけど家では躊躇する「絵の具を使ったお絵描き」
- ・危なくて隠している「はさみやカッターを使った工作」 など

本当はじっくりつきあって練習させたいけど母ひとりではしんどい・・・だから、家ではなかなかチャレンジ出来ないということに、数組の親子が集まってみんなで練習しよう！という活動です。

実施回数 19回

参加者数 109名

(障がい児38名・父/母38名・きょうだい2名・ボランティア31名)



### 親子クッキングクラブ “きりん”

重度知的障がいの小学生親子の自主グループです。

主に生活の力を身につけることを目標に活動しています。

実施回数 5回

参加者数 41名

(障がい児18名・父/母15名・きょうだい4名・ボランティア4名)



### 親子クラブ “ゼブラ”

軽度知的、発達障がいの小学生親子の自主グループです。

目的を持った自主活動を、友だちと一緒に集団で取り組んでいます。

実施回数 9回

参加者数 80名

(障がい児40名・父/母32名・きょうだい1名・ボランティア7名)



== ある日の鉄道クラブ ==

相変わらず人気の運転シュミレーションゲーム。今回はたくさんの運転士さんが乗務しました。

「この路線が終わったら交代ね。」「もうすぐ日本一周だよ！」「一緒にやる？運転士と車掌で。いい？」みんなやりたい気持ちは同じなのか、譲り合ったり、話し合ったり、楽しい光景がみられました。

乗務員さん用にと用意した白手袋も不足気味に。乗務が終わると、この手袋をきちんとしまってお帰ってくれる心遣い。みんな本物の鉄道マンなのね(^o^)

== “らっこ” 保護者の感想 =====

■百舌鳥支援学校 小3 重度知的障がいを伴う自閉症の男児 の母

～フルーツ大福づくり・パスタ生地づくり ほか クッキング、工作などに参加～

初めての参加は戸惑いもあり、落ち着かない様子でした。でも回を重ねる毎に“やってみよう！”という姿が見られるようになり、参加してみて分かることなんだ～と思いました。

粉を使ったクッキングでは、顔中が粉だらけになったことも… 家ではできない(させれない)事です(;>)

子どもより親の私が夢中になって作業することもあり、他の参加者さんとお話しもでき、楽しく参加させてもらってます！

■地域小学校支援学級在籍小3ダウン症の男児 の母

～ピザ・手打ちうどん・パスタ生地づくりに参加～

家でお手伝いをしたがりですが、させると余計な仕事が増えるし(\*\_\*; 「また今度ね…」と言いながら…ずっとさせていませんでした。

らっこへ行くと子ども達みんなで調理し、お母さんみんなで見守るので安心して任せる事ができ、うちの子ものびのび作って楽しそうです。特にうどんのコシを出す為に足でふむのが楽しかったようです♪

家でもう一度作りたい！と言うし、手順も簡単なものが多いので、週末のお昼ご飯のレパートリーが増えました

(\*^.\*^\*) 始まる前や食べ終わった後、2階の電車のお部屋で友達と遊べたり、母も友達と遊んでいる姿を見られて喜んでいきます。今後も楽しい企画を期待しています♪

□■ **ぴーすの支援プランセンター** (記：出来) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

【事業紹介】

平成24年度は、堺市の相談支援事業体制の変更に伴い、当センターも新たに指定相談事業所として、「計画相談支援」「障害児相談支援」を行う事業所に生まれ変わりました。

平成23年度末より、これまでの利用者へむけ新たな相談支援体制の説明を実施し、「計画相談支援」「障害児相談支援」を開始しました。障がいのある方やそのお子さんの希望する暮らしを実現させるため、アセスメントを行い、必要な障害福祉サービス利用を考え、事業所調整やサービス調整会議を開催し、計画案を作成。計画案作成後は、サービス利用の状況を確認するためモニタリングを実施しました。

【H24年度活動報告】

- 年間相談件数 1334件
- 年間契約実人数 113名
- 「障害児相談」計画案作成件数 122件
- モニタリング件数 214件
- 「計画相談」計画案作成件数 15件
- モニタリング件数 44件

==担当者より 1年を振り返って=====

委託事業から指定事業へと移行した今年は、指定相談事業の周知に始まり、計画案作成、事業所調整、モニタリングをこなしつつ、新しく始まった事業の難しさも多く感じる1年でした。利用件数は月をおう毎に増えていく傾向にある一方で、サービス利用計画案に至らない(障害福祉サービスを利用できない)方の相談も多く、他機関との連携もこれまで以上の必要性を感じる日々でした。今年度の経験を次年度の支援に活かし、より利用者のニーズにあったプランニングを目指し、担当者一同がんばっていきたくと思っています。

□■ **ぴーすの児童デイ(放課後等デイサービス・児童発達支援事業)** (記：小田) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

ぴーすでは(法人設立前の前身団体が実施していた)平成16年度から「障がい児の放課後活動」に取り組んでき

ました。その間、活動の運営を安定・継続すべく堺市ファミリーデイサポート事業（家賃補助）→堺市障害児放課後活動等支援事業→障害者自立支援法/児童デイサービスと事業形態を変更してきました。

その児童デイサービスが平成24年度から法律改正により、児童福祉法の児童発達支援と放課後等デイサービスに変更となり、ぴーすもそれに伴い事業変更を行いました。また、堺市障害児放課後活動等支援事業で実施していた「放課後クラブ ペリエ」は4月末で終了し、ぱんだとぼんだ2箇所での活動に組み換えを行いました。

●活動の目的

単なる「預かり」ではなく、個々に応じた「発達の支援」が目的です。一人一人の障がい特性や、持っている力（苦手なことできないことも含め）をしっかりと捉え、その力を「より伸ばす方法」や「できる工夫」など、将来の『その子らしい自立』を目標に日々の支援をしています。

「今、楽しく暮らす」ことをベースに「自ら成長する力をつける」ことを目指し、支援者は大人の目線ではなく、子どもに寄り添って年齢らしい暮らしができる環境作りのお手伝いをしています。

例えば・・・友だちとコミュニケーションがうまく出来ない子には、その子に応じたやりとりの方法や環境を整え、「おしゃべりしたい意欲」を育てる支援。家庭ではなかなかできない経験として、小さな集団の中で、「順番を守るなどルールを覚え、楽しく遊ぶ」場面作り。福祉用具や支援グッズを利用しながら「自分でできる」練習などなど一人ひとりの子どもの「こうなりたい」という心の声に耳を傾けて個別支援計画を立て、それを基に家庭と連携しながら、放課後や休日の活動をしています。土曜は余暇を楽しむ力の為の活動でプログラムがあります。

●ぴーすの児童デイぱんだ 活動紹介 （記：板野） -+++++

●活動概要

【場所】北区百舌鳥梅町

【日時】平日13：00～17：00 学校休日は10：00～17：00

土曜10：00～12：00 幼児（音楽活動・工作・アクティブ室内遊び）

13：00～17：00 学齢期（工作・クッキング・個別音楽）

●平成24年度の利用者数：幼児～中3 年間利用のべ人数 2498人

== 活動の様子 =====

水曜日が早帰りと言う事もあり、府大散策グループ（運動）と制作活動グループ（いろんな素材に触れる）に別れてそれぞれ個々に力を出してくれています。

府大散策では、いろんなコースがあるので毎日が探検で楽しみながらしっかり歩いています。

制作活動では、季節に合わせて個々にいろいろな素材を使いながら、最終みんなでの作品になっていきました。（ぱんだやばれっとに展示しています。）

それぞれがいろんな力をぱんだで出してくれくれます。その姿が今後も輝いていくことになると思います。



== ぱんだスタッフの感想 =====

A スタッフ

日常の活動の中に「お仕事」を取り組んでいます。タオル干し・タオルたたみ・食器洗いに掃除機などそれぞれの得意なことを活かして取り組んでもらいました。回数重ねるごとに、手の使い方が上手になり、スタッフ側が気がつかなかったことに気がつき、片付けてくれる頼もしい場面も見られました。すぐに結果を求めず、長い目で見守ることの大切さを改めて感じました。

B スタッフ

上神谷支援学校にお迎えに行き、5・6人の小・中学生と車でぱんだに帰ります。片道20分強あり、AKB48の





【テレビ・ラジオ】

5/15	J:COM関西（地デジ11Ch）の「8時です！火曜日です！生放送」で放送
5/18～20	J:COM堺（地デジ11Ch）の「Home townウィークリー」で再放送
10/11	KBS 京都の笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ「 嘶の朝ごはん」で生放送

【新聞】

5/12	徳島新聞の夕刊に記事掲載
5/16	毎日新聞（大阪版）の朝刊に記事掲載
5/22	毎日新聞（京都版）の朝刊に記事掲載
5/23	沖縄タイムスの朝刊に記事掲載
5/25	信濃毎日新聞の夕刊に記事掲載
6/7	神戸新聞の朝刊に記事掲載
6/9	中国新聞の夕刊に記事掲載
8/22	日本経済新聞の夕刊に記事掲載
8/22	日本経済新聞の電子版に記事掲載（会員限定）



【その他、紙面】

5/24	くるみの会「くるみ通信」で紹介
10/10	社会福祉法人 北摂杉の子会「機関紙（第51号）」に掲載
12/1	「広報さかい 2012年12月号（第741号）」に記事掲載

【HP、ブログ、ツイッターなど】

5/12	ブログ「カンカン の ひとりごと♪」で紹介
5/14	株式会社コムフレンド「コムフレンド通信」で紹介
5/16	ブログ「放課後等デイサービス りーふ」で紹介
5/22	ブログ「摂津市自閉症児者を持つ親の会クローバー」で紹介
5/23	ブログ「ヤマダ鍼灸整骨院 ☆院長のゆたしく〜っ！☆」で紹介
6/25	e-AT 利用促進協会 HP に掲載
6/27	おめでとう HP に掲載
7/7	ブログ「地域で生きたいんや！」で紹介
7/17	ブログ「インターネット・サポートブック『うぇびサポ』のブログ」で紹介
8/1	ブログ「地域で生きたいんや！」で紹介
8/8	ブログ「スイッチ工作室」で紹介
8/24	ブログ「特定非営利活動法人はなしのふ」で紹介
10/24	ブログ「カンカン の ひとりごと♪」で紹介
11/30	ブログ「あまみブログ」で紹介
12/1	堺市 HP「平成 24 年度 第 3 回 市長の「元気！いきいき訪問」」で紹介
2/3	ブログ「ナッシュのブログ」で紹介

●展示・その他（記：山本）+++++

4/2～8	発達障害啓発週間パネル展示に伴うグッズ展示
4/19～21	バリアフリー2012展示販売
12/15	発達障がい児者くらし市2012 ぽっしゅ出張販売

■職員研修（記：山本）

NPO法人ぴーすでは、福祉事業に従事する職員・スタッフに以下のような研修の開催等を行いました。

研 修 テ ー マ	実施日	参加人数
ぴーす主催 感覚講演会と中級セミナー	9/15、29	17
ぴーす主催 職員研修 ぴーす法人の紹介・障がいとは（ICF 知的障害）	10月4日	10
ぴーす主催 ぴあぴあ研修「防災ワークショップ ファシリテーター研修	10/25,29,30	11
ぴーす主催 職員研修 インテイク研修会	11月22日	11
ぴーす主催 職員研修 自閉症の障害特性と支援について	12月4日	18
ぴーす主催 職員研修 個人情報取り扱いについて	12月6日	31
ぴーす主催 新採用研修 NPO 法人ぴーすについて	1月9日	3
ぴーす主催 職員研修 障害福祉制度	1月11日	16
ぴーす主催 新採用研修 障害理解(ICF・知的障害)	1月16日	3
ぴーす主催 職員研修 コミュニケーション支援の基本	1月24日	10
ぴーす主催 職員研修 障害者虐待防止法について	1月31日	28
ぴーす主催 職員研修 障害関連本を読んで～読書感想文研修	2月中旬～	41
ぴーす主催 職員研修 アセスメントの基礎知識	2月14日	5
ぴーす主催 職員研修 事業保険などについて	2月22日	8
ぴーす主催 職員研修 防災ワークショップ	3月7日	10
ぴーす主催 職員研修 モノを使った支援～コミュニケーション中級編	3月19日	11
大阪府主催 指定障害福祉サービス事業者等集団指導	4月20日	1
堺市主催 堺市指定相談支援事業者向け研修	8月24日	1
大阪府主催 平成24年度 相談支援従事者初任者研修（5日課程）	9月27日～	1
大阪府主催 H24年度 相談支援従事者初任者研修（2日課程）	9/11、13	1
大阪府主催 平成24年度 指定障がい児支援事業等集団指導	9月14日	3
さかい障がい児放課後連絡会主催 研修会	10月18日	4
さかい障がい児放課後連絡会主催 法令順守 従業員指導 行政対応	12月7日	1
堺市主催 障害者虐待防止啓発セミナー	12月22日	1
外部研修 「windows8の概要セミナー」	1月22日	1
堺市子ども育成課主催 小児保健Ⅰ・Ⅱ食事と栄養	3月5日	1
堺市子ども育成課主催 ・安全確保とリスクマネジメント ・乳幼児の発達と心理気になる子どもへの対応・子ども虐待・心肺蘇生法	3月7日	1
堺市主催 児童発達支援センターにおける療育・訓練等について	3月11日	1
	述べ人数	250

その他      ～夏の慰労会～ 懇親会ランチ      9月18日  
                  ～冬の慰労会～ 懇親会ランチ      1月22日

#### << 研修に参加した職員の感想 ～抜粋～ >>

・大阪府主催 平成24年度 相談支援従事者初任者研修（5日間課程）



**【制作】特定非営利活動法人 ぴーす**

〒591-8032 堺市北区百舌鳥梅町3丁39-32

TEL 072-250-9060 FAX 072-250-9061

Mail [p-office@p-s-sakai.net](mailto:p-office@p-s-sakai.net) HP <http://p-s-sakai.net>